

輝 こぼれぬ光

We Love Nemuro!

「障がい児を持つ親は、負担を抱え何もできない。私も初めはそう考えました。」生後すぐにダウン症（染色体異常）と診断された翔泰くんのお母さん千葉文恵さんは、当時の率直な思いを語ってくれました。

千葉さんは、児童デイサービスセンターに通い知り合った難聴と精神運動発達遅延のある菊池恵太朗くんとダウン症の坂本まどかちゃんの親子とともに、子どもの成長に伴いだれでもが抱える心配や、就学などの情報を交換し交流を図っています。

「子どもたちはゆっくりですが、できることがたくさん増えていきます。そんな姿を、家族が後押しをしているだけのことです。」と、一片の不安もない明るい笑顔で文恵さんは翔泰くんを抱き寄せます。

子どもたちが持つ素晴らしい可能性を、たくさんの人に知ってもらい、気軽に接してもらえるのが一番です。障がい児を持ち一人で悩むお母さんも一緒に行動しましょうと、3人のお母さんは声をそろえます。

子どもたちの笑顔は、家族の笑顔。その笑顔を広げたいこうと小さな集まりからのスタートが切られています。



障がいに負けない笑顔は親子の絆



子どもたちとともに交流を深める千葉さんら

profile 千葉文恵さん

根室市西浜町

1966年根室市生まれ。2005年4月、3人兄弟の3番目に翔泰くんが誕生し、2週間後にダウン症と診断。根室市デイサービスセンターに通う親子との交流をきっかけに、広く障がい児を持つ親子との交流を望む。

千島桜を望む窓

市長室のカレンダー

10月16日、第30回

の節目を迎える「職域かくし芸・芸能のひととき」が総合文化会館で開かれました。根室警察署や根室地区保護司会など13の機関・団体の代表者が出演し、歌や寸劇、ダンスなどを披露しました。



この催しは、毎年、根室更生保護女性会が更生保護事業基金造成を目的に開いているもので、昨年に引き続き出演となった長谷川市長は、蝶ネクタイを身に着け舞台上に登場。部長課長ら29名の力強い男性コーラス隊とともに、北方領土返還要求の大会などで皆さんの耳に届いている「北方領土の歌」「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」の2曲を、領土返還への想いとともに歌い上げました。

歌唱後、根室更生保護女性会の森榮子会長から根室市図書館、根室市子ども育成協議会、赤い羽根共同募金会への寄付の目録が、長谷川市長へ手渡され、会場から大きな拍手が送られました。

会場の席を埋めた約700人の来場者は、普段見ることのできない各界代表者の意外な一面を堪能し、バラエティー豊かなステージを楽しみました。